

## 地域の情報などを発信する“市民交流スペース”を併設 「オンワード桜山 仙台支店」新社屋が竣工

株式会社オンワード桜山(東京都中央区 代表取締役社長 上村 茂)は、仙台市青葉区で建設を進めてきた仙台支店の新社屋を7月13日(木)に竣工。新社屋に仙台支店の営業・物流拠点を移転・統合させ、仙台地区の有力商圈やJR仙台駅から至近距離にある立地を生かした事業拠点としてオープンします。

また、地域の情報・話題・イベントを発信する市民交流スペースを併設し、地域の活性化にも役立つ施設をめざしていきます。

仙台支店の移転・新築は、営業力の強化を主な狙いとし、(1)営業拠点と物流拠点の集約により迅速な商品供給体制の推進、(2)JR仙台駅から2kmという立地上の利便性を活かした、より機動的でスピーディーな営業活動の促進、(3)物流アクセス(トラック、鉄道、航空等)の優位性をフルに発揮させた仕入・配送のスピード化など、業務の効率化をはかっていきます。

新社屋は、地上14階・地下1階建て(高さ68m)、延べ床面積約11,340㎡(敷地面積1,830㎡)で、旧仙台支店の約2倍の規模となります。総投資額は土地・建物などを合わせて約40億円となります。

設計コンセプトは、「舞う」「纏う」「環境」をキーワードに建物自体が街のランドマークとなる「かたち」を提案。建物の外周をガラスのカーテンウォールで包み(ダブルスキン構造)、洒脱な衣装着身に纏っているかのようなファサードをデザイン。また、夜間電力を利用する氷蓄熱システムや人感センサー照明、ダブルスキンによる日射熱の有効利用など様々な環境共生システムを採用し、地球にやさしい建物となっています。

フロア構成は、1階がエントランス、2階が商談スペース、3階から9階が商品倉庫などの物流スペース、11階から14階が営業活動のための事務所スペース、また、10階には650㎡の多目的スペース(アクションフロア)を設け、展示会など各種イベントの開催に活用していきます。

1階エントランス部分には2層吹き抜けのガラス張り空間(約100㎡)を設け、当社の情報発信および市民交流スペースとしての活用を計画しています。具体的には、65インチのプラズマディスプレイを4台設置して、映像クリエイターによる仙台の四季をモチーフにしたイメージ映像をはじめ、当社がオフィシャルチームスーツを提供している「楽天ゴールデンイーグルス」の試合や仙台のお祭り、地元大学の映像研究会の作品など、地域の情報や話題を発信していきます。さらに市民団体などのイベントスペースとしての開放も予定しています。



<b>事業所名</b>	株式会社オンワード樺山 仙台支店	<b>構造</b>	鉄骨造
<b>所在地</b>	宮城県仙台市青葉区二日町12番34号	<b>階数</b>	地上14階・地下1階
<b>開設</b>	1973年(昭和48年)12月	<b>高さ</b>	68.1m
<b>支店長</b>	執行役員仙台支店長 梅宮 栄八郎	<b>棟数</b>	1棟
<b>事業内容</b>	衣料品等繊維製品事業	<b>敷地面積</b>	1830㎡
<b>担当エリア</b>	青森県、岩手県、秋田県、山形県、福島県、宮城県、栃木県、茨城県	<b>建築面積</b>	813.29㎡
<b>売上高</b>	約155億円(平成18年2月期)	<b>延べ床面積</b>	11,340㎡
<b>従業員数</b>	121名(百貨店及び直営店等の販売員除く)	<b>建ぺい率</b>	52.13%
		<b>容積率</b>	649.99%
		<b>着工</b>	平成16年5月
		<b>完成</b>	平成18年7月

[▲ページTOPへ](#)